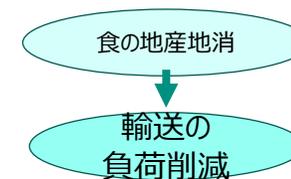


# No.17 YAMAGATA DESIGN株式会社 (1/2)



“まちづくり”をキーワードに、観光・教育・人材・農業といった幅広い事業を次々と展開、地域の課題解決を目指す



## ■ 基本情報

企業名	ヤマガタデザイン株式会社
本社所在地	山形県鶴岡市
設立年	2014年
従業員数	150名

## ■ 事業概要

ヤマガタデザイン株式会社（以下、ヤマガタデザイン）は、山形庄内エリアが持続・自走する地域になるために、地域課題解決に必要な“まちづくり”に関する以下の事業を幅広く展開している。

**(1)観光**：庄内の魅力を世界に発信することを目的に、2018年よりホテル「スイデンテラス」を運営。庄内の田園風景を望める客室設計のみならず、地元食材を活かした料理の提供や地域の自然や文化、歴史、食などの魅力を体感できるツアーなどを通じて、庄内に新たな観光客を呼び込んでいる。

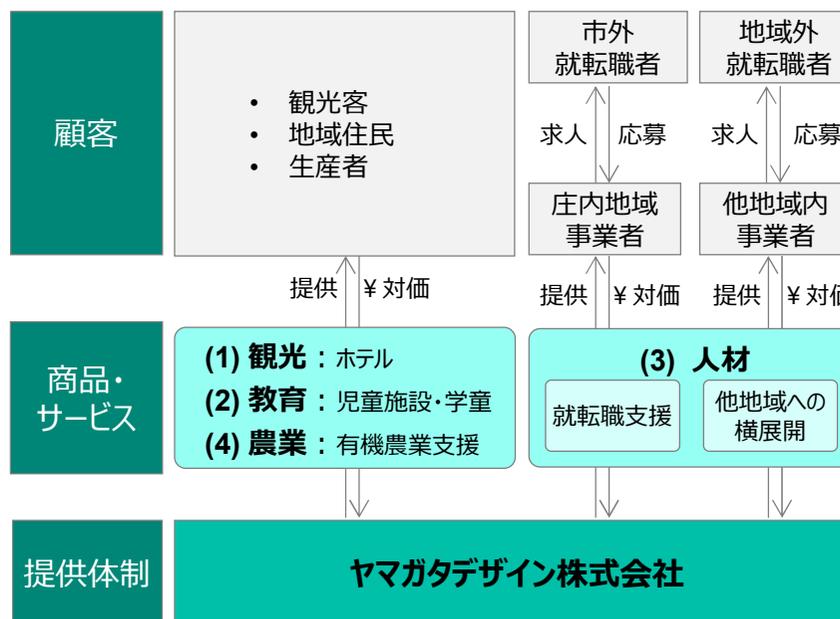
**(2)教育**：遊びを通じて個性を伸ばすことを目的に、全天候型児童教育施設である「キッズドームソライ」を運営。

**(3)人材**：庄内エリアへのUIターン促進を目的に、就転職紹介サイトである「ショウナイズカン」を運営。求人のみならず、市民のリアルな暮らしを掲載する。また、「チキズカン」として同スキームの他地域への導入支援も実施している。

**(4)農業**：有機作物の生産・販売・商社を手掛ける「ショウナイルーツ」を運営。また、有機農業などの持続可能な農業への就農支援のための学校「農業経営者育成学校」や農作業の課題解決のためのハード開発を担う「有機米デザイン」も運営しており、庄内エリアから日本の農業の課題解決を目指している。

## ■ 背景・課題

地域課題 ・ 企業課題	<b>土地開発の推進</b> ✓ 鶴岡市内の研究開発支援エリアの発展が停滞する中で、周辺開発のニーズが高まっていた。
地域資源	<b>庄内平野に広がる田園</b> ✓ 田園風景を望むホテルを建設、運営し、国内外から観光客を獲得している。 ✓ 田園を活かして有機作物の栽培を推進している。
地域への貢献	<b>人材確保・育成</b> ✓ 民間による教育施設の充実化やUIターン促進の相乗効果により、特に子育て世代の移住者増加に貢献している。 ✓ 自社の従業員も8割がUIターン者となっている。



出所) ヤマガタデザイン株式会社  
資料・インタビューより

## ■ 事業立上・推進期における取り組み内容

立上期	推進期
<ul style="list-style-type: none"> <li>ヤマガタデザイン代表の山中氏は、鶴岡市内の研究開発支援地域「サイエンスパーク」内にある企業への就職をきっかけに鶴岡市に移住。山中氏は前職でデベロッパーに勤務していたことから、サイエンスパークの未利用地を活用し、地域の課題を解決する取組をスタートさせた。</li> <li>当初は、山中氏の描いたサイエンスパークの開発計画を批判する人も存在していたが、関係者全員を説得するのではなく、事業を通じてステークホルダーに価値を提供することだけに集中することを意識していた。その結果として、口コミ等を通じて信頼を獲得し、地元の企業や地銀から資金援助を獲得するに至った。</li> <li>初期は紹介ベースで人材を獲得しつつ、並行してビジョン・ミッション・アクションを整理し、HPサイト等で発信することで、地域内外の人材の共感を獲得し人員拡充を成功させている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2016年にスイデンテラス着工に至ったが、地域の課題解決のためには観光業のみならず、地域内で人を育てる必要があると考え、2017年には教育施設「キッズドームソライ」の建設を開始。現在、利用料収入に加えて、企業からのスポンサーや「SORAIでんき」という電力の販売取次事業などにより、「キッズドームソライ」の運営収益を持続可能な水準に維持している。</li> <li>他にも、地元住民の声から農業事業や人材事業を開始しており、農業事業では有機栽培の支援や就農支援、人材事業ではUIJターン就職の促進に取り組んでいる。</li> <li>「ショウナイズカン」では、求人内容のみならず、市内で働く人々のリアルな生活を掲載し、移住後の生活イメージを発信している。本事業は、地方における求人への情報アクセス不足、地方の事業者の採用ノウハウ不足という社会課題解決に繋がり、登録求職者の獲得に成功している。</li> </ul>

## ■ 取り組みにおける工夫

### ポイント 「面白さ」の観点で事業選定

地域課題解決やマネタイズよりも、「面白さ」を基準に事業内容を練っている。「面白さ」とは、経済性・人間性・環境性と定義しており、そのバランスがよい事業であればヒトやカネがついてくるという考えの下、事業を推進している。

### ポイント 事業の新陳代謝促進

「面白くない」と判断した事業は、事業化・事業拡大に着手する前に撤退して新しい事業アイデアに移行する。そうすることで成功する事業にリソースを投下することができ、結果的に多くの事業を成功させることができる。

### ポイント 地域に価値を生む「本業」への集中

メディアを通じた広告宣伝ではなく、本業＝地域に提供する価値の向上に集中している。企業のブレないブランディングの確立に寄与するだけでなく、各種メディアからの取材が増え、結果的により多くの広告効果を得ている。

## ■ 目指す将来像

### 庄内エリアを地域循環のモデル地域に

- 観光事業の顧客が地元の飲食店や交通機関を利用する、などの経済性以外のKPIを意識することで更なる地域貢献を目指す。
- また、足元は既存の4つの事業分野に注力することで、「庄内から、ときめこう」というビジョンのもと、庄内エリアを持続可能な地方都市として、他地域のモデルとなる立ち位置となることを目指す。

